

昭和 33 年度新規直轄河川

33 年度の直轄河川の改修費は 102 億 1700 万円で、前年にくらべ 4 億 7900 万円増となり、新しく本明、六角、大井の 3 河川が改修され、総数は 82 本となる。

本明川は長崎県諫早市を貫流して有明海に注ぎ直轄河川の規模としては最小であるが、昨 32 年 7 月末諫早市に未曾有の大水害をひき起し、その損害は死者 498 名、罹災者 35 000 名、流失家屋 528 戸、被害総額 98 億 5 000 万円で、約 14、5 時間の連続雨量 600 mm 以上、時間雨量も大村では 129 mm に達し、短時間に狭い流域に記録的な豪雨がもつたため、市内の橋梁が流木等をせきとめて被害を助長した。

改修計画は従来中小河川改修事業の区域の、長崎本線鉄道橋より下流河口までを直轄改修区域とし、鉄道橋上流は災害助成事業を行い、諫早市内における中小河川の計画高水流量 280 m³/sec を 850 m³/sec に改めた。

六角川は佐賀県西部の有明海に注ぐわが国でも類例をみない緩流感潮河川で、流域は古くからの干拓平野であり全流域の 8 割が潮汐の影響をうけ河口の干拓潮位差は 5~6 m におよび潮汐の遡上によつて運搬される有明海の濁土は河道に堆積し洪水の疏通を妨げ被害は毎年くり返され、改修計画は高潮防御と洪水の疎通を主眼とした。

大井川は静岡県中部の代表的な羽状流域を持った急流河川で明治時代に改修されたにすぎないため 29 年台風

14 号による洪水で破堤寸前におちいふた。計画は堤防の拡築、護岸の強化、河状の整正に重点をおいた。

河川名	流域面積 (km ²)	改修延長 (km)	計画高水流量 (m ³ /sec)	33年度事業費 (千円)
本 明 川	87.2	6.6	河 口 1520 六角川 600 中津川 1000	140 000
六 角 川	341.0	56.3		30 000
大 井 川	1311.0	24.4	6 000	30 000

道路公団 33 年度新規着工工事について

路線名	区 間	延 長	幅 員	総事業費 (千円)	竣工年度
若 戸 橋	自福岡県戸畑市昭和通 至福岡県若松市堺町 (二級国道 199 号)	2 068 m (内主橋梁 680 m) 取付道路 (高架とも) 1 388 m	主橋梁 15.0 m 取付道路 9.0 m	5 100 000	36
東京高速道路	自東京都品川区西戸越 至東京都中央区銀座東 8 丁目	9 430 m		11 100 000	37
箱 根 パイパス	自神奈川県足柄下郡湯本町 至神奈川県足柄下郡箱根町 (一級国道 1 号)	13 855 m	6.5 m	1 700 000	35
伊 勢 神 戸 トンネル	愛知県東貨茂郡足助町連谷地内	1 400 m (内トンネル 1 174 m)	5.5 m	350 000	34
伊 豆 山 道	自静岡県伊東市富戸 至静岡県伊東市遠笠山	16 975 m	5.5 m 5.0 m	420 000	34

焼 津 路	自静岡県用至静岡県焼津市 (二級国道 静岡、浜松線)	5 180 m (内トンネル 1 872 m)	7.5 m	250 000	34
厚 岸 湾 フェリー	自北海道厚岸郡厚岸町真龍 至北海道厚岸郡厚岸町本町 (道道霧多布、厚岸線)	フェリー 1 隻 (100t)		100 000	34
松山小松路	自愛媛県今治市桜井 至愛媛県周桑郡壬生川町 (二級国道松山、小松線)	6 047 m	5.5 m	330 000	34
音戸架橋	自広島県呉市警固屋町 至広島県安芸郡音戸町 (県道 呉、倉橋線)	本州四国連絡道路	自兵庫厚岸郡岩屋町 至兵庫厚岸郡岩屋町 (一級国道 28 号線、フェリーポート)	調査結果をまつて着工する	
九州横断道	自長崎県南高来郡小浜町(雲仙) 至長崎県島原市(二級国道 島原、諫早線)	教賀道路	自福井県教賀市杉津 至福井県南条郡河野村大谷 (一級国道 8 号)		
高德道 知島路	自高知県香美郡物部村 至徳島県那賀郡木頭村 (二級国道 高知木頭、徳島線)				

エカッフェ地方計画ゼミナールの開催

来る 7 月 28 日より 8 月 8 日まで国際連合(技術援助局、エカッフェ、社会局)の主催で東京において「都市化と工業化に関連する地方計画」ゼミナールが開催される。

議 題

- (1) 地方計画に影響を与える現在の諸動向
 - a) 人口集中と都市化 b) 工業化と農業問題
 - c) 計画と行政の諸問題
- (2) 地方計画手法の適用
 - a) 大都市地域 b) 農村開発計画 c) 資源開発
 - d) 工業配置
- (3) 総論と勧告
 - a) 総論(諸政策、方法論、計画規模、技術援助、評価) b) 各論 i) 市街地開発 ii) 農村開発 iii) 工業配置

場所：産経会館(東京都千代田区大手町)

第 2 回万国地震工学会議準備状況

1956 年 6 月米国パークレー市で開催された万国地震工学会議の要望等を考慮し、第 2 回会議を 1960 年 7 月 5 日~9 日まで東京で開催すべく計画されている。現在万国地震工学会議準備委員会(委員長 武藤 清東大教授、委員数約 50 名、うち土木関係 17 名)が土木、建築、地震 3 学会の協力によつて開催について着々準備を進めつつある。

現在のところでは日本学術会議は開催の方針を決定し、今年 7 月頃地震工学会議開催についての閣議決定がなされるように手続中で、閣議決定以後は準備委員会が組織委員会に切りかえられ、会議開催の準備を進める段階に至ることになる。

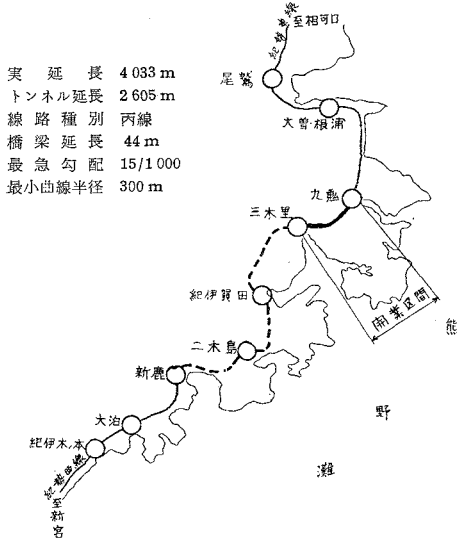
会議は 1. 地震性状、2. 地震と地盤性状、3. 地震と

構造物, 4. 地震被害報告, 5. 耐震設計について。主に総合的報告のほか個人の研究報告も発表される。

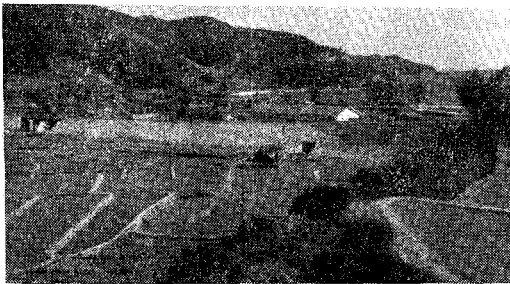
紀勢線 九鬼—三木里間の開業

去る4月23日に開業した紀勢線九鬼—三木里間は既開業終端駅九鬼より名柄トンネル(2605m)を経て新設駅三木里に至る4033mの線路で、この区間の開業により今日まで巡航船を唯一の連絡機関としていた三木里付近が尾鷲市と30分足らずで連絡でき、紀勢東・西線の連絡開通にさらに一歩ふみ出したわけである。

なお最後に残された三木里—新鹿間(14300m)は玄



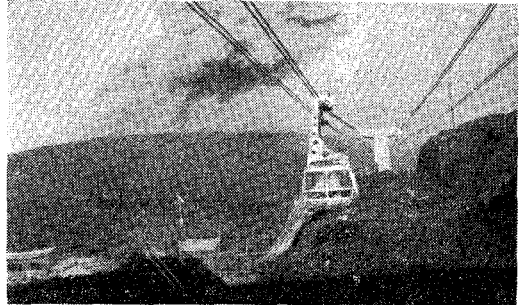
ヶ谷(2835m)、曾根(2933m)、逢神坂(2534m)等2km以上の長大トンネルを3カ所も含む難工区間で、34年度中の開通をめざして約60%を完成した。



大型旅客索道の竣功(阿蘇山)

阿蘇有料登山道路の終点から中岳の火口壁まで水平距離845mの旅客索道が4月10日開業した。本索道の特長は噴煙の硫黄分に対する防護のため、鉄骨をやめコンクリートを使用し、ケーブルにメッキを施すなどの対

策が講じられたこと、フランスのミディ峯にある70人乗りの索道について世界第二位の61人乗りのゴンドラを用いたいわゆる日本一の大型旅客索道である。その他最近竣工した旅客索道は、下関市火の山(3月30日開通)、新潟県弥彦山(4月17日開通)、蒲郡市弘法山(4月19日開通)と相次いで完成している。



三坂大橋工事状況

33年8月中に架設完了をめざして工事中である。

路線名：三國々道

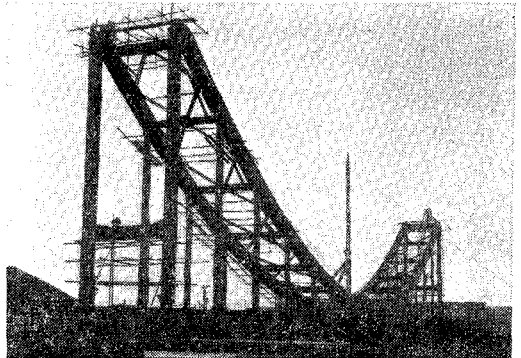
架橋地点：群馬県利根郡新治村大字永井字法師峠地先

橋格：1等橋(L-20) ライズ：16.5m

型式：上路遊ローゼ桁 幅員：7.0m

橋長：130.8m 総鋼重：337.21t

アーチ支間：91.0m



仮組立中の中川橋梁(東京都放射14号線)

架設位置：放射14号線(蔵前橋—亀戸天神—江戸川市川橋に至る東京・千葉の連絡道路)の中川。

橋梁の概要：橋格：1等橋(L-20)

型式：溶接ローゼ桁

橋長・幅員：延長74.0m 幅員(2.75+16.6+2.75m)=22.1m

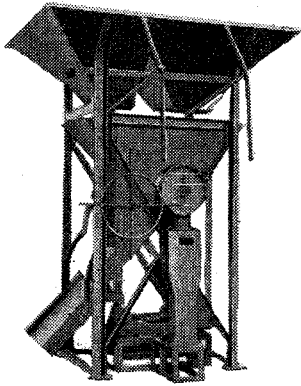
面積：1630.68m² 支間：72.0m

ライズ：11.0m

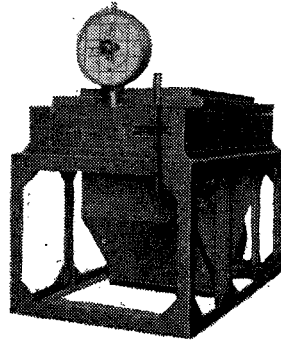
総鋼重：930.818t 569kg/m²

工程：33年2月28日仮組完了, 3月25日現場搬入完了, 6月初旬架設開始予定, 8月下旬架設完了

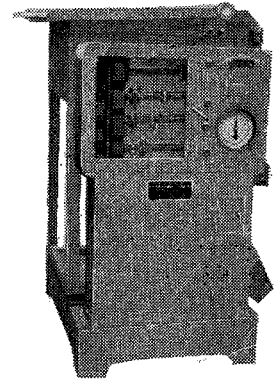
EP型簡易パッチャープラント



ホツパースケール



骨材計量機



専門メーカーの作る

価格低廉
納期迅速
御報次第係員参上



日本度量衡器株式会社

本 社 工 場 東京都杉並区阿佐ヶ谷四の四三〇 電話 荻窪(39)1427・4858・5575
名 古 屋 工 場 名古屋市中川区八熊町苗田二一六六 電話 南局(32)2730



小型・軽量・堅牢

サイクロ モーターフリー

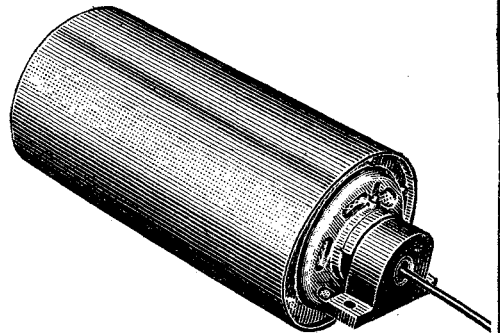
特 長

サイクロ減速機の使用により下記の特徴を有しています。

1. 極めて小型、軽量です。
2. 効率よく、運転が静粛円滑です。
3. 長寿命で故障がなく、しかも保守が簡単です。
4. ドラム周速度はサイクロ減速機を取換えることにより簡単に速度変更が出来ます。
5. 信頼出来るモーターを使用してあります。

種 類

モーター 1/4HP~3HP
周速度 26~115 m/mn (60~)
21~ 97 m/mn (50~)



住友機械工業株式会社

本 社 大阪市東区北浜 5 の 22 住友ビル
東 京 支 社 ・ 福 岡 営 業 所 ・ 札 幌 出 張 所